

あいち農産物生産流通レポート

平成21年2月号

情報サロン		
・守口漬ができるまで	-----	1
	(園芸農産課)	
地域トピックス		
・「越津ねぎ」産地の復活に向けて	-----	2
	(海部農林水産事務所)	
東日本情報		
・地域ブランド化戦略と「知的財産」	-----	3
	(東京事務所)	
西日本情報		
・あいちのいちごフェア及び平成20年度愛知県 いちご品評会が開催されました	-----	5
	(食育推進課)	
フラワーページ		
・フラワードーム2009の開催について	-----	6
	(園芸農産課)	
青 果		
・愛知産青果物の動向(名古屋・東京市場)	-----	7
・名古屋・東京市場における青果物の2月の見通し	-----	8
花 き		
・切花・鉢花の2月の見通し(県内市場)	-----	14
輸出入		
・主要農産物の輸出入実績(2008年11月)	-----	18
関連指数	-----	19

内容についての問い合わせ先

愛知県東京事務所行政課農産物流通対策グループ

(03)-5492-5400

愛知県農林水産部食育推進課

(052)-954-6417

守口漬ができるまで

世界一長い大根といわれる守口大根は、愛知県扶桑町と岐阜市で生産されており、このうち扶桑町の出荷数量は全体の65%を占めています。

守口大根を粕漬けにしたものが守口漬で、名古屋名産として全国に広く知られています。



今年も、12月から1月にかけて収穫された守口大根およそ185tの塩漬が行われました。キズがなく、根のくびから先端までが同じ太さの形の良いものが選別されて、ただちに塩漬されます。

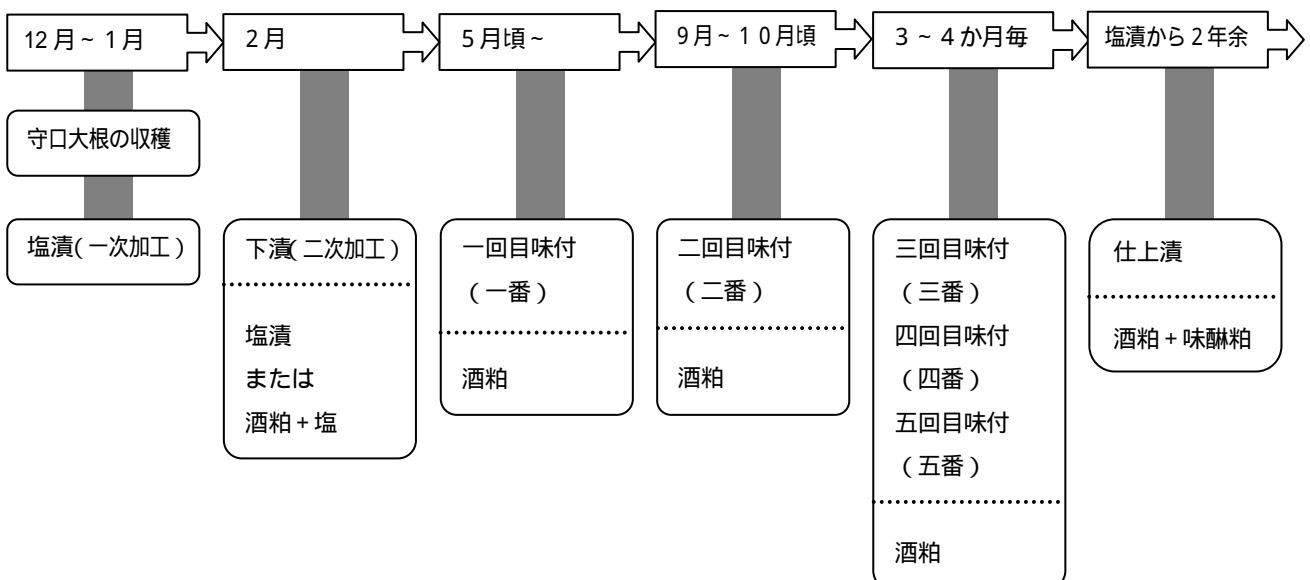
その後、下漬を経て何回も酒粕に漬け替えられ、酒粕と味醂粕を用いた最後の仕上げの漬込みが終わるまで、2年以上の歳月と手間をかけて、琥珀色で芳醇な香りの守口漬になります。

現在でも、大根についた酒粕を一本一本ていねいに拭き取ったり、酒粕と大根を一段ずつ交互に並べていく漬け直しは、すべて手作業で行われています。

酒粕や味醂粕の仕入れ先は、加工業者によってまちまちで、その配合にも違いがあるため、同じ守口漬でもメーカーによって味や風味に差があります。

今年収穫された守口大根が守口漬として販売され、消費者の元に届くのは2年から3年後となります。

守口漬の製造工程



「越津ねぎ」産地の復活に向けて

海部農林水産事務所管内の津島市越津町は、江戸時代中期頃に尾張藩主への献上品として珍重された「越津ねぎ」の発祥の地であるが、現在は家庭用に栽培しているのが主で、市場などには出荷していない。

この「越津ねぎ」産地の復活に向け、生産者及び津島市による取組が進められているので、その概要を紹介する。

1 生産者の取組

「越津ねぎ」の生産・出荷を目指して、津島市内の生産者によって平成19年10月に越津ねぎ栽培に関する研究会が行われるようになった。

この研究会には、海部東農業協同組合(以下「農協」という。)神守支店の朝市かもり部会、神守壮年者友の会に所属する生産者40人が参加している。

毎年2回ほど農協が主催、農業改良普及課支援による栽培講習及び現地ほ場検討が行われ、津島市からは、研究会参加者に「越津ねぎ」の種子を配布している。

また、津島市莪原町にある農協のグリーンプラザにおいて、ふるさと伝統野菜として「越津ねぎ」をPR販売している。

2 津島市の取組

平成17年度から、学校給食週間において、津島市内の幼稚園、小・中学校の13か所で「越津ねぎ」を使ったひきずり^{注)}などの郷土料理を提供している。

また、「越津ねぎ」のおいしい食べ方を提案するために、海部東農協と共同で調理勉強会を開催し、平成20年11月の「ふるさと農林水産フェア秋」においては、「越津ねぎ」の料理の紹介や栽培研究会についてのPRを行った。

今後も、栽培希望農家とともに生産拡大に向けた取組を行い、「越津ねぎ」の産地復活を目指す。



現地ほ場検討



グリーンプラザにおけるPR販売

注) ひきずり : 「ひきずり」とは、尾張の方言で、すき焼きのこと。一般的に鶏肉を用いることが多い。

地域ブランド化戦略と「知的財産」

東京事務所農産物流通対策グループ

東京都内では有名デパートや飲食店で、全国各地の地域ブランドの農畜水産物を購入したり食することができます。また、最近、各府県によるアンテナショップが出店され、首都圏での消費者の認知度を高めるため、特産品の販売がなされています。西日本のK県のアンテナショップでは、今まで首都圏ではあまり知られていなかったオリーブの漬け物が新たな売れ筋商品となるなどブランド化に向けて着々と成果をあげています。

このような商品のヒットの裏側には「ニセモノ」が出現がつきまといまいます。せっかくのブランド化した商品イメージを損なうケースも出てきています。そこで、このような売れ筋商品：「知的財産」を模造品や類似品から守るための法律「知的財産権」について紹介します。

< 「知的財産」について >

我が国の農林水産業においては、長い間「知的財産」についての認識は商工業など他産業と比べて重要視されてきませんでした。農業においてこれまで、新たな技術、品種等は開発した個人や法人の一部を除き共有資源として考えてきました。したがって、「知的財産」「権利保護」といった意識は非常に低いレベルにありました。しかし、近年、地域間競争などが激化するにつれ、模造品や類似品によって生ずる損害から「知的財産」を保護する重要性が高まっています。

< 「知的財産」とブランド化の結びつきについて >

「知的財産権」とは、育成者権（植物の新品種）、特許権（栽培技術、遺伝子特許等）、実用新案権（農機具等）、商標権（マーク、地位団体商標）、意匠権などであり、「知的財産」には、これらの権利以外に古くからの農業技術や品種（コシヒカリ、ふじ等）、動物の遺伝資源（和牛等）、ブランド（地域ブランド、農産品ブランド）、伝統文化、農産漁村景観なども含まれます。

この中で、国内あるいは地域農業の活性化や発展には、ブランド化を推進すること（ブランド化戦略）が重要な要素であり、この観点から「地域ブランド」を創ることが注目されています。このためには、品質や特徴で差別的優位性を創ることはもちろん、同時に模造品や類似品を排除するために「商標」、特に「地域団体商標」を取得することが望ましいと考えられます。

<地域ブランド商標について>

「地域団体商標」は農産物等の地域ブランド保護の観点から平成18年4月に新たに制定されました。導入から3年目となり、全国で農産品や工芸品など371件が登録され(平成20年3月現在) 県内では「一色産うなぎ」「三州瓦」「常滑焼」「有松鳴海絞」など7件が登録されています。

「地域団体商標」とは、商品等の産地、販売地域等の地名と商名役務名からなる団体商標の一種です(下記1参照)。複数の事業者が地域名を冠した共通のブランド名を用いることにより、商品・サービスの差別化や付加価値の向上を目指すものです。

1 地域団体商標として登録できる商標(3類型)

地名+普通名称： みかん

地名+陶器の慣用名称： 焼、 温泉

地名+名称+産地等を表示する際に付される慣用名称： 名産高菜漬け)

2 「地域団体商標取得」の目的

- (1) 地域名を付けた商品やサービスを模造品や類似品から守ること
- (2) 品質や規格等の商標管理ルールを作ることで、業界や地域の品質を高めること
- (3) 出願を契機に地域業界・団体が「ブランド化」に一丸となって取り組むこと

3 産地偽装と地域団体商標の事例

産地偽装で社会問題となった代表的なものに「一色産うなぎ」、「比内地鶏」があります。流通の段階で中国産うなぎや産卵鶏の廃鶏にすり替えられた事件です。

どちらも生産者団体が地域団体商標を取得しており、「一色産うなぎ」は「一色産のうなぎを主要な原材料とする愛知県幡豆郡を中心とした西三河地区で製造したうなぎの蒲焼き・うなぎの白焼き」、また「比内地鶏は」は「秋田比内鶏とロード種(メス)を掛け合わせ、秋田県比内地方で生産した食用鶏肉」となっています。

これらの産地では、事件後全国的に「知名度」を上げたことは間違いありません。しかし、このピンチをチャンスにするために、生産者が一丸となって品質の向上、流通ルートの把握を行ったことでブランド化に繋げたことも事実です。


<まとめ>

以上、「地域団体商標」取得に向けた話を中心に述べてきました。しかし、この権利は、地域に受け継がれ構築された「地域ブランド」を権利化したものに過ぎません。

登録後、目的達成のため、更なる構成員の結束や商品管理などブランドの維持発展へ向けたたゆまぬ構成員一人一人の努力が大切だと思います。

「あいちのいちごフェア」及び平成20年度の品評会が開催されました

愛知県は、産出量全国4位を誇る、いちごの大産地です。このたび、いちごの生産技術向上と消費者の方々へのPRなどを目的に、「あいちのいちごフェア」及び「平成20年度愛知県いちご品評会」が開催されましたので、その内容を御紹介します。

 あいちのいちごフェア ～いちごで受験生を応援～

消費者の方々に愛知のいちごをPRするとともに、受験生のみなさんのゆめのかなうことを願って、平成21年1月23日(金)に、“あいちのいちごフェア”が金山総合駅内のイベント広場で開催されました。

ここでは、愛知県が育成した品種である「ゆめのか(*)」の即売や栽培方法のパネル展示を行ったほか、「ゆめのか」に、県内で生産されている「とちおとめ」、「章姫」、「紅ほっぺ」を組み合わせる1箱に詰めた“お楽しみセット”を販売しました。4品種を一度に食べ比べることができるとあって販売開始前から長蛇の列ができ、あっという間に売り切れとなりました。



ゆめのかの展示



いちご販売の様子

お楽しみセット



* 「ゆめのか」について

愛知県で育成され、平成19年3月に品種登録された品種です。「ゆめのか」の名前は、“みんなのゆめのかなうよう”という意味を込めて付けられました。ジューシーで、甘さと酸味のバランスのよい食味を持ち、果皮がほどよく硬いため、傷みにくい特性があります。

平成20年度愛知県いちご品評会

いちご品評会は、生産者の栽培技術向上と消費拡大を目的に、毎年、美味しいいちごが穫れるこの時期に開催されており、今年度は平成21年1月27日(火)に蒲郡商工会議所で開催されました。

今回は、通常の園芸関係技術者及び青果物市場関係者に加え、東三河地域のパティシエが審査員となり、消費者の視点からも審査を行いました。

審査の状況

本年は8月に大雨が降ったため、定植に遅れが見られましたが、その後の生育は順調で、病気の発生も少なく、品質も良好でした。

このような状況のなか、県内各地から選りすぐりのいちご249点(「とちおとめ」:50%、「章姫」:28%、「ゆめのか」:16%、「紅ほっぺ」:5%、「さがほのか」:1%)が出品されました。

審査は、重量測定の後、外観(形状や色揃い等)、糖度(糖度計で測定)、品質(肉質、食味等)の3区分で、順次行われました。



重量測定



糖度測定



内容審査

出品されたいちごは、外観が良く揃っており、糖度も平均12度と高く、高品質のものばかりでしたが、審査員は丁寧に審査し、農林水産大臣賞をはじめとする特別賞を19点、団体賞を1点、入選31点を決定しました。



消費者審査

また、消費者審査員が、消費者特別賞1点、消費者賞3点を決定しました。審査を行ったパティシエの方々によると、デザートに使用するいちごには、

- ・ 甘味と酸味のバランスがよく、生クリームと相性が良い
- ・ 肉質がしっかりしている
- ・ 形がそろっており、色つやが良い

ものが望ましいとのことでした。

一般公開と消費宣伝即売会

賞が決定した後は、出品されたいちごの一般公開が行われ、訪れた多くの生産者が熱心に見入っていました。また、一般公開の後には、アピタ蒲郡店で消費宣伝即売会も行い、人気を集めました。

「フラワードーム2009（あいち花フェスタ・名古屋国際蘭展）」 の開催について

「環境緑花 - 花と緑のあふれる暮らし - 」をテーマに
リニューアル！

会期

平成21年3月12日（木）～18日（水）

9:30～17:00（入場は16:30まで）

14日（土）は9:30～20:00（入場は19:30まで）

場所

ナゴヤドーム（名古屋市東区大幸南1）

最寄り駅：地下鉄・ゆとりーとライン「ナゴヤドーム前矢田」駅

JR・名鉄「大曽根」駅

入場料

前売券 大人1,500円、中高生1,000円

当日券 大人1,800円、中高生1,200円

ナイトチケット900円（14日（土）17:00から有効、当日券のみ）

小学生以下は無料

1 フラワードーム2009の目的

愛知県産花きをPRするとともに、花の生産者と消費者との交流を深め、花き産業と花に関する文化の向上を図る。

2 見どころ

- (1) 第10回を記念し、「環境緑花」をテーマにしたシンボル展示
- (2) 様々な花を豪華に飾り付けたディスプレイコンテスト
- (3) 品質の高い愛知の切花、鉢物と国内外のランによるフラワーコンテスト
- (4) 世界遺産に指定されている南アフリカのケープ植物保護区の風景を再現した特別展示
- (5) 中南米原産の森の宝石と呼ばれる「エピデンドラム」の特別展示
- (6) 幻の図鑑「蘭花譜」の特別公開

3 ステージイベント

- (1) 園芸教室
- (2) フラワーデモンストレーション
- (3) いけばなデモンストレーション
- (4) フラメンコライブ
- (5) 花き生産者によるトークショーなど



（昨年度のフラワーディスプレイ作品）

販売コーナーでは、生花、苗、園芸用品などがお値打ちにお買い求めいただけます。

愛知産青果物の動向

青果物の見通し」及び「花きの見通し」ページにおいて使用する『変動の幅を表す用語』につきましては、下記の基準で記載しております。

わずか : ± 2 % 台以内
 や や : ± 3 ~ 5 % 台
 かなり : ± 6 ~ 15 % 台
 大 幅 : ± 1 6 % 以上

名古屋市中央卸売市場(品目:ブロッコリー)

	入 荷 量 (t)	卸 売 価 格 (円/kg)		前年の主な他産地 (上位3産地)
		うち愛知産	うち愛知産	
20年実績	361	218 (60%)	346	高知 (15%) 鳥取 (13%)
21年見通し	390	230	320	-
入荷量及び卸売価格の概要と見通し		卸売市場から産地への要望・提言等		
<p>定植時の高温とその後の干ばつにより、1月までは入荷が少なかったが、2月は入荷が集中し多くなるであろう。品質面も、干ばつの影響で水分が不足気味なことに加え、気温の低下で玉肥大も遅れ気味で推移したが、2月は回復を期待したい。 入荷量は前年をかなり上回り、価格は前年をかなり下回る見込み。</p>		<p>全国的には他の品目からの転換が多く、作付面積が増加している。また、夏品種を中心に、改良研究が盛んにおこなわれている。 消費動向は低価格嗜好が顕著になってきている。加えて、この地域は、大きめで軸のしっかりしたものの人気が高い。 他産地はきめの細かい対応をしながら出荷増・品質向上してきている。危機感を持って生産・選果してほしい。</p>		

東京都中央卸売市場(品目:ブロッコリー)

	入 荷 量 (t)	卸 売 価 格 (円/kg)		前年の主な他産地 (上位3産地)
		うち愛知産	うち愛知産	
20年実績	2,045	961 (47%)	320	埼玉 (16%) 米国 (13%) 群馬 (7%)
21年見通し	1,950	-	330	-
入荷量及び卸売価格の概要と見通し		卸売市場から産地への要望・提言等		
<p>愛知が入荷の約5割を占め、次いで埼玉が続く。愛知は年末からの冷え込みで、生育に遅れが見られる。埼玉の生育は順調で前倒し出荷となっており残量は例年より少ない。 入荷量は前年をやや下回り、価格は前年をやや上回る見込み。</p>		<p>ブロッコリーは栄養価の高い食材として消費者の認知度も高く、量販店にとっても年間を通して目玉商品となる商材である。 本県産は数量もあり、品質面でも高い評価を受けているので、今後とも安定した数量の出荷と品質維持をお願いしたい。</p>		

名古屋・東京市場における青果物の2月の見通し

名古屋中央卸売市場

1月16日現在

単位：入荷量 = トン、卸売価格 = 円 / kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
野菜	16年	34,937	208	212	208	愛知 31%	
	17年	33,505	208	206	208	北海道 21%	
	18年	33,680	206	217	202	鹿児島 9%	
	19年	32,632	181	181	177	静岡 6%	
	20年	34,090	206	196	205		
	5ヵ年平均	33,769	202	-	-		
計	21年見通し	32,600	205	-	-	前年及び本年の入荷量・価格の動き	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>地元愛知を中心に、北海道の土もの等を入荷する。定植時や生育期に低温だったため、入荷が遅れが見られたり、作付面積が減少している品目があり、少なめとなるであろう。 入荷量は前年をやや下回り、価格は前年並みの見込み。</p>					
だいこん	16年	2,205	93	94	92	93	静岡 58%
	17年	2,212	89	83	94	95	徳島 30%
	18年	1,857	115	121	114	108	愛知 6%
	19年	1,786	52	43	56	62	鹿児島 4%
	20年	1,984	71	63	72	79	
	5ヵ年平均	2,009	85	81	86	87	
計	21年見通し	1,850	65	60	70	70	前年及び本年の入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>静岡、徳島を中心に入荷する。愛知は終了に向かう。需要が減少しており、各産地とも作付面積が減少しているため、入荷も年々減少傾向にある。 入荷量は前年をかなり下回るものの、価格も前年をかなり下回る見込み。</p>					
にんじん	16年	2,377	68	68	68	66	愛知 74%
	17年	2,297	155	147	151	171	鹿児島 21%
	18年	2,249	126	125	132	123	千葉 3%
	19年	2,917	48	46	46	55	熊本 2%
	20年	2,834	100	86	103	112	
	5ヵ年平均	2,535	96	94	100	105	
計	21年見通し	2,600	100	100	100	100	前年及び本年の入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>愛知を中心に、鹿児島、千葉から入荷する。1月までは生育期に低温の日が続いたため玉肥大が悪かったが、2月は回復に向かい、2Lサイズが増えて安定した入荷となるであろう。 入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年並み。</p>					

東京都中央卸売市場

1月22日現在

単位：入荷量 = トン、卸売価格 = 円 / kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
野菜	16年	120,568	227	233	232	215	千葉 17%
	17年	118,188	230	227	231	231	北海道 13%
	18年	118,078	231	243	232	214	茨城 12%
	19年	115,881	198	194	198	202	愛知 10%
	20年	123,759	234	226	231	244	(愛知産比率 10%)
	5ヵ年平均	119,295	224	-	-	-	
計	21年見通し	120,000	210	-	-	-	前年及び本年の入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>関東産地からの入荷が中心で、果菜類は西南暖地が増え、土物類は北海道からの入荷となる。関東産地の生育は概ね順調だが、西南暖地に干ばつや低温の影響が見受けられる。 入荷量は前年をやや下回り、価格は高かった前年をかなり下回る見込み。</p>					
だいこん	16年	11,858	97	100	102	89	神奈川 58%
	17年	11,761	95	86	102	101	千葉 29%
	18年	11,342	122	133	112	117	徳島 7%
	19年	11,227	54	48	55	63	静岡 6%
	20年	12,362	78	72	80	84	(愛知産比率 0%)
	5ヵ年平均	11,710	89	88	90	91	
計	21年見通し	12,500	80	80	80	80	前年及び本年の入荷量・価格の動き
産地状況と 概入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>関東産地からの入荷が中心となる。神奈川の生育は順調で平年よりL比率が高くなっている。千葉の生育も順調で若干前進化傾向。徳島は地区によって生育の遅れが見られる。 入荷量は前年並で、価格は前年をわずかに上回る見込み。</p>					
にんじん	16年	7,373	61	59	63	65	千葉 73%
	17年	6,629	151	136	150	172	埼玉 13%
	18年	6,737	136	140	134	134	茨城 9%
	19年	6,784	53	51	51	59	鹿児島 2%
	20年	6,880	128	116	131	136	(愛知産比率 0%)
	5ヵ年平均	6,881	105	100	106	112	
計	21年見通し	6,700	120	110	120	120	前年及び本年の入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>前月に続き千葉を始めとした関東産地からの入荷が中心となる。千葉の生育は順調で肥大も良好である。埼玉は初期成育不良の景況から肥大が遅れている。 入荷量は前年をわずかに下回り、価格は前年をかなり下回る見込み。</p>					

名古屋中央卸売市場

単位：入荷量 = トン、卸売価格 = 円 / kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
はくさい	16年	3,024	95	87	98	105	愛知 57%
	17年	3,144	84	82	86	85	兵庫 24%
	18年	3,247	72	74	71	68	長野 9%
	19年	2,757	54	49	55	62	茨城 6%
	20年	3,214	79	63	78	96	
	5ヵ年平均	3,077	77	71	78	83	
	21年見通し	3,000	75	70	75	80	前年及び本年の入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>愛知を中心に、兵庫、宮崎などから入荷する。作付面積は、主力の愛知は若干減少しているが、兵庫は前年並みで宮崎はやや増加。1月は低温の影響で入荷が少なめであったが2月は回復を期待。入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年をやや下回る見込み。</p>					
キャベツ	16年	2,936	86	87	93	80	愛知 98%
	17年	2,747	133	154	135	109	鹿児島 1%
	18年	3,118	93	114	95	69	兵庫 1%
	19年	3,010	51	50	54	47	
	20年	3,118	95	77	101	108	
	5ヵ年平均	2,986	91	96	96	83	
	21年見通し	3,000	90	100	90	80	前年及び本年の入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>ほぼ愛知のみの入荷。定植時の天候の影響で小玉傾向が続き、入荷が少なめで推移していたが、2月中旬以降は回復して玉肥大もよくなり、数量も増加してくるであろう。入荷量、価格ともに前年をやや下回る見込み。</p>					
ほうれんそう	16年	448	464	562	483	343	愛知 85%
	17年	570	312	408	276	262	徳島 7%
	18年	602	300	405	304	181	福岡 4%
	19年	493	264	356	198	238	群馬 1%
	20年	457	387	364	394	408	
	5ヵ年平均	514	340	419	331	286	
	21年見通し	450	380	400	370	350	前年及び本年の入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>ほぼ愛知からの入荷。11月以降、低温、干ばつのため生育が遅れ気味で推移しており、2月もよほど天候がよくなると回復は見込めないであろう。入荷量は前年並みで平年を大幅に下回り、価格は高かった前年並み。</p>					

東京都中央卸売市場

単位：入荷量 = トン、卸売価格 = 円 / kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
はくさい	16年	10,379	70	59	76	81	茨城 61%
	17年	12,090	71	61	78	79	群馬 21%
	18年	11,570	62	65	62	57	兵庫 11%
	19年	9,847	29	24	27	41	埼玉 4%
	20年	11,692	63	46	62	85	(愛知産比率 3%)
	5ヵ年平均	11,116	60	51	61	69	
	21年見通し	11,400	60	60	60	60	前年及び本年の入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>茨城と群馬からの入荷が中心となる。茨城の生育は定植遅れの影響から小玉傾向。群馬の生育は順調で結球も良好。兵庫の生育は干ばつ低温から遅れており小玉傾向である。入荷量は前年をわずかに下回り、価格は前年をやや下回る見込み。</p>					
キャベツ	16年	13,219	88	91	91	80	愛知 69%
	17年	11,550	138	160	138	113	千葉 15%
	18年	13,060	96	114	96	75	神奈川 13%
	19年	12,716	54	53	56	53	静岡 1%
	20年	13,094	98	81	103	114	(愛知産比率 69%)
	5ヵ年平均	12,728	94	100	97	87	
	21年見通し	13,000	90	100	90	90	前年及び本年の入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>愛知と千葉、神奈川からの入荷が中心。愛知の生育は寒さの影響から遅れ気味である。千葉の生育は順調でやや前進化。前年を大幅に上回る出荷となる見込み。神奈川の生育も概ね順調である。入荷量は前年並みで、価格は前年をかなり下回る見込み。</p>					
ほうれんそう	16年	1,898	468	574	483	346	埼玉 27%
	17年	2,020	373	412	395	308	茨城 23%
	18年	2,394	322	417	340	207	群馬 21%
	19年	1,900	299	316	275	308	千葉 20%
	20年	1,852	389	429	365	375	(愛知産比率 0%)
	5ヵ年平均	2,013	368	430	372	309	
	21年見通し	1,900	350	350	350	350	前年及び本年の入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>前月に引き続き関東産地からの入荷が大部分を占める。埼玉の生育は概ね順調だが、露地栽培中心で天候に左右されやすい。茨城、群馬の生育は概ね順調である。入荷量は前年をわずかに上回り、価格は前年をかなり下回る見込み。</p>					

名古屋中央卸売市場

「ねぎ」の数値には「こねぎ」を含む。

単位：入荷量 = トン、卸売価格 = 円 / kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
ねぎ	16年	9 4 6	3 3 9	330	363	322	愛知 28%
	17年	9 8 1	3 0 7	297	303	325	静岡 17%
	18年	8 4 9	3 5 3	365	346	341	大分 14%
	19年	9 0 1	2 4 1	233	239	254	埼玉 9%
	20年	9 8 7	4 0 4	353	407	454	
	5ヵ年平均	9 3 3	3 3 0	316	332	339	
ねぎ	21年見通し	9 5 0	3 5 0	350	350	350	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>愛知を中心に静岡、大分、群馬などから入荷する。白ねぎは静岡中心。長ねぎの愛知は、作付は減少しているが生育は順調。前年は中国産の輸入減により価格が高騰したが、本年は落ち着いている。入荷量は前年をやや下回り、価格は高かった前年をかなり下回る見込み。</p>				
レタ	16年	1, 4 8 3	2 8 0	285	292	263	兵庫 37%
	17年	1, 5 8 3	2 1 3	211	222	205	静岡 19%
	18年	1, 6 8 9	2 2 8	280	220	175	愛知 17%
	19年	1, 6 3 4	2 1 8	243	222	176	熊本 13%
	20年	1, 5 0 5	2 5 2	229	243	287	
	5ヵ年平均	1, 5 7 9	2 3 7	250	240	221	
レタ	21年見通し	1, 6 0 0	2 2 0	220	220	220	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>兵庫を中心に、静岡、愛知、熊本などから入荷する。低温により、遅れ気味で小玉傾向で推移。入荷は不安定だが、1月よりは漸次増加してくるであろう。入荷量は前年をかなり上回り、価格は高かった前年をかなり下回る見込み。</p>				
きゅう	16年	1, 6 0 5	2 4 7	275	255	208	愛知 48%
	17年	1, 2 8 2	3 7 5	404	303	425	高知 20%
	18年	1, 1 4 8	3 9 1	405	354	417	宮崎 20%
	19年	1, 2 8 8	3 1 4	324	260	373	鹿児島 13%
	20年	1, 2 4 7	3 8 2	545	368	276	
	5ヵ年平均	1, 3 1 4	3 3 6	391	308	340	
きゅう	21年見通し	1, 3 0 0	3 8 0	350	400	400	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>愛知を主力に宮崎、高知、鹿児島から入荷する。低温に加え日照量が少ない時期であり、入荷は少ない。上旬の節分需要等により、単価はまずまずの展開となるであろう。入荷量は前年をやや上回り、価格は高かった前年並み。</p>				

東京都中央卸売市場

単位：入荷量 = トン、卸売価格 = 円 / kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
ねぎ	16年	4, 6 5 9	2 3 3	215	247	237	千葉 42%
	17年	4, 8 1 5	2 2 9	207	237	251	埼玉 33%
	18年	4, 2 4 2	2 9 8	302	288	302	茨城 8%
	19年	4, 5 8 3	1 4 5	139	144	154	群馬 5%
	20年	4, 9 3 1	2 8 3	264	272	320	(愛知産比率 0%)
	5ヵ年平均	4, 6 4 6	2 3 7	225	238	253	
ねぎ	21年見通し	5, 2 0 0	2 0 0	200	200	200	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>前月に続き関東産地からの入荷が中心となる。千葉の生育は順調で病害の発生もなく品質も良好である。埼玉の生育はやや遅れているが回復基調にある。茨城の生育も概ね順調で肥大も良好である。入荷量は前年をやや上回り、価格は前年を大幅に下回る見込み。</p>				
レタ	16年	6, 5 4 7	2 8 4	304	256	248	静岡 35%
	17年	6, 7 1 2	2 1 7	221	229	200	香川 15%
	18年	7, 1 7 7	2 2 8	292	221	166	熊本 9%
	19年	7, 0 2 4	1 9 5	219	200	155	千葉 7%
	20年	7, 0 8 6	2 3 1	208	224	268	(愛知産比率 3%)
	5ヵ年平均	6, 9 0 9	2 3 0	249	226	207	
レタ	21年見通し	7, 1 0 0	2 3 0	250	230	210	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>前月に続き静岡と香川中心の入荷となる。静岡の生育は干ばつと寒さの影響で小玉傾向だが、徐々に回復する見込み。香川の生育も干ばつと寒さから小玉傾向が続く見込み。全体の入荷量は前年並で、価格も前年並となる見込み。</p>				
きゅう	16年	5, 7 3 7	2 5 8	298	260	217	千葉 24%
	17年	4, 7 4 1	3 8 2	405	311	428	宮崎 22%
	18年	4, 6 0 4	4 1 7	443	370	444	高知 15%
	19年	4, 9 0 9	3 3 0	340	277	391	群馬 15%
	20年	5, 1 2 0	4 0 0	578	383	284	(愛知産比率 0%)
	5ヵ年平均	5, 0 2 2	3 5 4	413	320	353	
きゅう	21年見通し	5, 3 0 0	3 5 0	370	350	330	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>前月に続き西南暖地と関東産地からの入荷が中心となる。千葉の生育は順調であり、病害の発生もなく品質も良好である。宮崎、群馬とも生育は概ね順調である。入荷量は前年をやや上回り、価格は前年をかなり下回る見込み。</p>				

名古屋中央卸売市場

単位：入荷量 = トン、卸売価格 = 円 / kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量			卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)
		上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	
なす	16年	722	312	363	317	274	愛知 49%	
	17年	499	363	369	352	366	熊本 46%	
	18年	478	367	372	364	363	高知 3%	
	19年	576	339	375	322	313	鹿児島 2%	
	20年	469	409	494	436	340		
	5ヵ年平均	549	353	395	358	331		
21年見通し	460	370	380	360	350	前年及び本年の入荷量・価格の動き		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>愛知、熊本を中心に、高知などから入荷。愛知は千両。作付面積は減少しているが、生育は順調で安定入荷。熊本の長なすは2月から本格的な入荷となる。入荷量は、前年並みだが例年を大幅に下回り、価格は高かった前年をかなり下回る見込み。</p>						
トマト	16年	958	338	368	334	322	熊本 42%	
	17年	982	334	362	330	308	愛知 34%	
	18年	967	305	297	309	311	三重 15%	
	19年	940	352	338	342	387	岐阜 7%	
	20年	859	334	336	349	318		
	5ヵ年平均	941	332	340	333	329		
21年見通し	900	330	330	350	320	前年及び本年の入荷量・価格の動き		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>熊本、愛知を中心に、三重、岐阜などから入荷する。低温で作柄が不安定で入荷は少なめであろう。2月下旬は小玉傾向。入荷量は少なかった前年をやや上回るが、価格は前年並みの見込み。</p>						
ミニトマト	16年	179	771	758	787	767	熊本 50%	
	17年	208	668	712	647	643	愛知 38%	
	18年	209	615	614	600	631	和歌山 10%	
	19年	190	764	784	751	750	韓国 1%	
	20年	215	716	711	760	681		
	5ヵ年平均	200	704	716	709	694		
21年見通し	220	700	650	650	750	前年及び本年の入荷量・価格の動き		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>熊本、愛知を中心に、一部和歌山から入荷する。定植時に重油が高騰していたことから、西南暖地で作付が減少している。入荷量は前年をわずかに上回り、価格は前年をわずかに下回る見込み。</p>						

東京都中央卸売市場

「なす」の数値には「べいなす」を含まない。

単位：入荷量 = トン、卸売価格 = 円 / kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量			卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)
		上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	
なす	16年	3,020	355	413	351	306	高知 60%	
	17年	2,249	429	438	408	442	福岡 19%	
	18年	2,222	403	400	407	402	熊本 6%	
	19年	2,308	405	439	384	389	佐賀 5%	
	20年	2,151	439	514	438	385	(愛知産比率 - %)	
	5ヵ年平均	2,390	403	441	398	385		
21年見通し	2,100	420	430	420	420	前年及び本年の入荷量・価格の動き		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>前月に続き西南暖地からの入荷が中心となる。高知は11月からの日照時間が少なかったため収量が伸び悩んでいたが徐々に回復の見込み。福岡は1月の低温から生育にやや遅れが出ている。入荷量は前年をわずかに下回り、価格は前年をやや下回る見込み。</p>						
トマト	16年	5,129	367	413	358	333	熊本 32%	
	17年	4,943	363	397	356	332	栃木 14%	
	18年	5,044	301	296	301	306	愛知 12%	
	19年	4,754	381	358	379	421	福岡 6%	
	20年	4,882	355	366	360	341	(愛知産比率 12%)	
	5ヵ年平均	4,950	353	366	351	347		
21年見通し	4,700	360	360	360	360	前年及び本年の入荷量・価格の動き		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>熊本、栃木、愛知からの入荷が中心となる。熊本の生育は定植遅れや天候不順により遅れが目立ち小玉傾向。栃木の生育は順調。愛知はファーストトマトの入荷が徐々に増加してくる。入荷量は前年をやや下回り、価格は前年並みの見込み。</p>						
ミニトマト	16年	729	754	742	778	739	熊本 31%	
	17年	852	623	662	596	605	愛知 26%	
	18年	812	612	606	609	625	宮崎 12%	
	19年	796	732	763	709	718	千葉 11%	
	20年	845	715	746	748	651	(愛知産比率 26%)	
	5ヵ年平均	801	685	704	688	668		
21年見通し	750	700	700	720	700	前年及び本年の入荷量・価格の動き		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>前月に続き熊本、愛知からの入荷が中心となる。熊本、愛知とも冷え込みと日照不足により生育は遅れている。量的にも例年より少ない見込み。入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年をわずかに下回る見込み。</p>						

名古屋中央卸売市場

単位：入荷量 = トン、卸売価格 = 円 / kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量			卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)
		上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	
ピーマン	16年	546	506	464	547	506	464	鹿児島 38%
	17年	395	662	618	689	618	686	宮崎 38%
	18年	401	706	678	766	678	666	高知 24%
	19年	411	640	578	764	584	578	
	20年	341	805	849	729	839	849	
	5ヵ年平均	419	649	649	699	645	649	(愛知産比率 0%)
21年見通し	350	700	700	700	700	700	前年及び本年の入荷量・価格の動き	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し								
<p>鹿児島、宮崎を中心に、高知からも入荷する。2月は日照量が少ないことに加えて、作付面積が減少しており、入荷は少なめ。 入荷量は少なかった前年をわずかに上回り、価格は高かった前年をかなり下回る見込み。</p>								
ばれいしょ	16年	3,893	171	169	162	178	169	北海道 52%
	17年	3,091	126	129	123	126	129	鹿児島 41%
	18年	3,707	129	128	128	131	128	長崎 7%
	19年	3,276	120	124	120	116	124	
	20年	3,640	107	122	98	104	122	
	5ヵ年平均	3,521	131	134	126	131	134	(愛知産比率 0%)
21年見通し	3,200	120	130	110	120	130	前年及び本年の入荷量・価格の動き	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し								
<p>北海道、鹿児島を中心に一部長崎からも入荷する。北海道の貯蔵ものは、安定した入荷。鹿児島の新ものは、作付面積減少ながら生育はよい。 入荷量は前年をかなり下回り、価格は安かった前年をかなり上回る見込み。</p>								
たまねぎ	16年	5,070	88	90	90	85	90	北海道 93%
	17年	4,963	100	94	102	107	98	静岡 3%
	18年	4,701	92	94	87	98	98	京都 1%
	19年	4,219	95	95	95	95	95	中国 1%
	20年	5,150	74	74	75	74	74	(愛知産比率 0%)
	5ヵ年平均	4,820	89	93	89	89	93	前年及び本年の入荷量・価格の動き
21年見通し	5,000	75	75	75	75	75		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し								
<p>北海道を主体に、一部静岡から入荷する。北海道は貯蔵もので計画出荷。静岡は新ものだが、入荷量は年々減少している。 入荷量は多かった前年をわずかに下回り、価格は前年並みだが例年をかなり下回る見込み。</p>								

東京都中央卸売市場

単位：入荷量 = トン、卸売価格 = 円 / kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量			卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)
		上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	
ピーマン	16年	1,493	530	463	601	518	463	宮崎 39%
	17年	1,452	687	712	712	634	712	茨城 25%
	18年	1,168	752	830	728	689	689	高知 21%
	19年	1,291	679	788	615	621	621	鹿児島 13%
	20年	1,170	870	847	875	890	847	(愛知産比率 - %)
	5ヵ年平均	1,274	696	670	763	678	670	前年及び本年の入荷量・価格の動き
21年見通し	1,100	850	820	880	850	820		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し								
<p>西南暖地と茨城からの入荷が中心となる。宮崎の生育は概ね良好だが、1月下旬の天候不順の影響が懸念される。茨城は春物の定植が遅れたため入荷もやや減少見込み。高知の生育は順調である。 入荷量は前年をやや下回り、価格も前年をわずかに下回る見込み。</p>								
ばれいしょ	16年	7,229	151	151	150	151	151	北海道 69%
	17年	7,813	112	113	112	112	113	鹿児島 20%
	18年	7,470	122	120	123	122	120	長崎 9%
	19年	7,506	114	111	115	115	111	千葉 1%
	20年	9,348	96	101	93	96	101	(愛知産比率 0%)
	5ヵ年平均	7,873	118	119	119	119	119	前年及び本年の入荷量・価格の動き
21年見通し	9,200	120	120	100	120	120		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し								
<p>北海道からの入荷が中心となる。北海道はやや小玉傾向のため入荷量はやや減少。鹿児島の生育は10日程度遅れているが、降雪や雨天で収穫も遅れている。 肥大も小玉傾向である。 入荷量は前年並で、価格は安かった前年を大幅に上回る見込み。</p>								
たまねぎ	16年	9,156	101	104	100	100	104	北海道 91%
	17年	9,118	112	121	105	111	121	静岡 6%
	18年	8,664	104	105	103	103	105	中国 1%
	19年	8,589	104	106	102	105	106	米国 1%
	20年	1,168	85	87	83	85	87	(愛知産比率 0%)
	5ヵ年平均	9,139	101	105	99	101	105	前年及び本年の入荷量・価格の動き
21年見通し	9,000	80	80	80	75	80		
産地状況と 概入荷量及び卸売価格の概況見通し								
<p>春先まで北海道中心の入荷が続く。北海道は在庫量少なく入荷は減少する見込み。小玉傾向だが品質は良好である。静岡は干ばつで肥大が遅れている。 入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年をやや下回る見込み。</p>								

名古屋中央卸売市場

単位：入荷量 = トン、卸売価格 = 円 / kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量			卸売価格			前年主要産地(%)	
		上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	(愛知産比率)	
果 実 計	16年	15,572	283	278	306	266	静岡	20%	
	17年	14,060	307	299	316	307	青森	16%	
	18年	13,025	304	286	323	307	愛知	15%	
	19年	10,419	370	364	371	379	フィリピン	13%	
	20年	12,505	292	277	299	301			
	5ヵ年平均	13,116	308	-	-	-			
21年見通し	10,500	330	-	-	-				
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>みかん、りんご、いちごなどを中心に入荷する。みかんは真年で入荷が少ないため調整だが、その他の果実は景気低迷の影響で苦しい展開が予想される。入荷量は前年を大幅に下回り、価格は前年をかなり上回る見込み。</p>							
り ん ご	16年	2,014	264	266	263	260	青森	94%	
	17年	1,963	287	293	282	283	秋田	4%	
	18年	2,119	245	243	246	248	長野	1%	
	19年	2,097	259	258	257	262			
	20年	2,105	255	251	255	259			
	5ヵ年平均	2,060	262	-	-	-			
21年見通し	2,100	230	230	230	230				
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>青森の「ふじ」を中心に入荷する。下級品の割合が高い傾向が続いている。1月の需給調整の効果が限定的だと、荷動き及び価格は低迷したまま推移するであろう。入荷量は前年並みで、価格は前年をかなり下回る見込み。</p>							
い ち ご	16年	1,310	1,191	1,340	1,262	1,007	愛知	53%	
	17年	1,310	1,141	1,139	1,115	1,172	熊本	23%	
	18年	1,200	1,223	1,362	1,239	1,087	鹿児島	11%	
	19年	1,126	1,195	1,269	1,121	1,203	三重	6%	
	20年	1,283	1,024	1,275	1,065	850			
	5ヵ年平均	1,246	1,153	-	-	-			
21年見通し	1,200	1,000	1,000	1,000	1,000				
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>愛知を中心に熊本、鹿児島などから入荷する。各産地とも2番果となる。景気低迷による消費鈍化の影響が大きく、食味は良いものの荷動きが悪い。価格面でも厳しい展開が予想される。入荷量は前年をかなり下回るもの、価格も前年をわずかに下回る見込み。</p>							

東京都中央卸売市場

単位：入荷量 = トン、卸売価格 = 円 / kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量			卸売価格			前年主要産地(%)	
		上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	(愛知産比率)	
果 実 計	16年	47,084	307	312	331	334	静岡	19%	
	17年	44,250	339	331	363	368	愛媛	18%	
	18年	43,215	231	309	347	343	青森	14%	
	19年	37,958	405	476	374	441	フィリピン	7%	
	20年	43,899	313	296	236	316			
	5ヵ年平均	43,281	319	-	-	-			
21年見通し	42,000	320	-	-	-				
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>「りんご」、「いちご」中心に「いよかん」、「不知火」など晩相類の入荷が本格化する。「いよかん」は栽培面積減少等により入荷量の減少が見込まれ、みかん類も貯蔵性が悪く、前進出荷のため、入荷量の大きな減少が見込まれる。総入荷量は前年をやや下回り、価格は前年をわずかに上回ると見込まれる。</p>							
り ん ご	16年	6,196	257	251	254	255	青森	93%	
	17年	5,640	273	271	276	275	秋田	4%	
	18年	6,632	230	224	232	234			
	19年	5,852	261	271	257	259			
	20年	6,470	248	245	251	248			
	5ヵ年平均	6,158	254	-	-	-			
21年見通し	6,900	200	200	200	200				
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>青森から「ふじ」の貯蔵もの中心に入荷する。産地在庫は前年より多い。玉流れは36玉中心と平年並みであるが、下位等級が多く、品質の劣化が懸念されている。入荷量はかなり上回り、価格は大幅に下回ると見込まれる。</p>							
い ち ご	16年	4,349	1,173	1,443	1,319	1,042	栃木	32%	
	17年	4,356	1,195	1,187	1,215	1,272	佐賀	17%	
	18年	4,521	1,246	1,308	1,298	1,127	福岡	17%	
	19年	4,184	1,247	1,271	1,201	1,263	茨城	12%	
	20年	4,952	1,061	1,279	1,092	889			
	5ヵ年平均	4,472	1,184	-	-	-			
21年見通し	4,900	1,050	1,200	1,050	900				
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>栃木中心に佐賀、福岡、茨城などから入荷する。各産地とも生育は概ね順調で第3果房への切り替わりも順調である。中下旬に向け出荷量が増加すると見込まれる。入荷量は前年並みと見込まれ、価格も前年並みと見込まれる。</p>							

切花・鉢花の2月の見通し

切花（地方卸売市場 ヤマエ生花市場 1月26日現在）

1月26日現在）

単位：千本、円/本

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
輪 ぎ く	実 績	16年	684	57	
		17年	699	53	
		18年	577	63	
		19年	598	55	
20年		733	55		
5ヶ年平均		658	56		
21年見通し		630	56		
概要		愛知、沖縄を中心に入荷。前年の原油高の影響で作付面積は減少傾向にあり、愛知などでは、特に白ぎくが少なめとなるであろう。業務需要があるため引き合いは強く、価格は上げ基調で推移するであろう。			
小 ぎ く	実 績	16年	513	40	
		17年	654	29	
		18年	615	29	
		19年	445	41	
20年		513	31		
5ヶ年平均		548	33		
21年見通し		520	33		
概要		沖縄を中心に、愛知、静岡などから入荷。作付面積は前年並みであるが、色によって入荷量にばらつきがあり、白系が多めとなるであろう。そのため、黄・赤系の価格は堅調だが、白系はやや軟調な価格となる見込み。			
カ ー ネ ー シ ョ ン	実 績	16年	575	33	
		17年	492	43	
		18年	507	42	
		19年	524	38	
20年		549	41		
5ヶ年平均		529	39		
21年見通し		540	39		
概要		愛知、長野、和歌山を中心に入荷。全体の作付面積は前年並みだが、スプレーからスタンダードへの移行があるため、スプレーは入荷が減少し、スタンダードが増えるであろう。小売需要が少なめで、ブライダル・業務中心の荷動きとなるため、価格はやや軟調。			
か す み そ う	実 績	16年	122	61	
		17年	98	53	
		18年	102	54	
		19年	130	42	
20年		83	80		
5ヶ年平均		107	56		
21年見通し		90	78		
概要		和歌山、熊本、高知を中心に入荷。1月は低温・日照不足で入荷が少なめであったが、2月には回復するであろう。品種は「ビッグミスター」中心。2月前半は、需要が少なく荷動きが鈍いが、後半はブライダル需要を中心に引き合いが強まり、堅調であろう。			

単位：千本、円/本

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
ゆ り	実 績	16年	134	193	
		17年	133	192	
		18年	132	200	
		19年	123	188	
20年		148	200		
5ヶ年平均		134	195		
21年見通し		140	195		
概要	高知、愛知、岐阜などから入荷。てっぼうゆり、オリエンタルは前年並みだが、すかしゆりはやや少なめの入荷が見込まれる。各品種とも生育がやや遅れ気味のため、前半は少なめで後半は増加するであろう。価格は、業務需要を中心に安定した動きとなる見込み。				
洋 ら ん	実 績	16年	218	73	
		17年	284	58	
		18年	234	68	
		19年	200	83	
20年		238	76		
5ヶ年平均		235	71		
21年見通し		230	75		
概要	徳島、宮崎、愛知、岐阜などを中心に輸入ものも入荷。国内産、輸入もの共に、2月前半は気温低下に伴って少なめの入荷となるが、後半は増加するであろう。業務需要の引き合いが強く、安定した価格で推移するであろう。				
ば ら	実 績	16年	327	64	
		17年	247	76	
		18年	248	83	
		19年	319	64	
20年		317	82		
5ヶ年平均		291	73		
21年見通し		310	85		
概要	愛知、岐阜、三重を中心に、和歌山、長野からも入荷。原油高は緩和されてきたものの入荷は増加せず、前年並みかやや少なめであろう。月の前半は需要が少なく荷動きが鈍いが、後半は卒業式・ブライダル需要により堅調な価格となるであろう。				
枝 も の	実 績	16年	909	45	
		17年	925	43	
		18年	913	43	
		19年	866	43	
20年		1,056	39		
5ヶ年平均		934	42		
21年見通し		950	40		
概要	長野、静岡、愛知を中心に、山形、岐阜より入荷。稽古用のサクラ、レンギョウ、コデマリ、ユキヤナギ等の蒸しものが中心となる。後半は節句用のハナモモも前年並みに入荷する。価格は、ディスプレイ用のものの引き合いが強く、堅調に推移するであろう。				

鉢 花 (愛知豊明花き地方卸売市場 1月9日現在)

単位：鉢、円/鉢

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
工 力	実 績	16年	26,752	266	
		17年	29,340	246	
		18年	26,702	216	
		19年	19,938	249	
		20年	15,939	193	
	5ヶ年平均	23,734	237		
21年見通し	16,000	190			
概要	<p>最近は消費者の購入価格の低下により、生産自体が小鉢化している。ただ、これを生かしたガーデニングや寄せ植え素材としてのポット物の需要が強まると思われる。変わった色目や仕立てにより市況の活性化を望む。昨年2月の主要県の入荷実績は金額ベースのシェアで1位新潟(37%)、2位愛知(24%)、3位静岡(20%)となっている。</p>				
プ ム ラ	実 績	16年	416,954	95	
		17年	387,761	95	
		18年	454,623	90	
		19年	452,970	99	
		20年	334,570	84	
	5ヶ年平均	409,376	93		
21年見通し	300,000	80			
概要	<p>この月の生産自体を避ける傾向があり、入荷量も少なめか。ただ、需要自体も少ないので、価格面では厳しい動きが予想される。昨年2月の主要県の入荷実績は金額ベースのシェアで1位愛知(42%)、2位埼玉(9%)、3位奈良(9%)となっている。</p>				
チ ュー リ ッ プ	実 績	16年	88,550	244	
		17年	112,374	190	
		18年	68,579	240	
		19年	82,034	179	
		20年	98,621	146	
	5ヶ年平均	90,032	196		
21年見通し	90,000	140			
概要	<p>生産の90%以上を輸入球根に頼っていることから、球根価格の高騰が影響し、4号鉢以上の入荷は減少すると思われる。その代わりに、3号ポットの芽出し物の入荷は増加の見込み。昨年2月の主要県の入荷実績は、金額ベースのシェアで1位愛知(48%)、2位埼玉(35%)、3位新潟(10%)となっている。</p>				

主要農林水産物の輸出入実績 (2008年)

1 輸入実績

品名	1 月						1 1 月 まで の 累 計					
	数量	前年比	金額	前年比	単価	前年比	数量	前年比	金額	前年比	単価	前年比
	トン	%	千円	%	円/kg	%	トン	%	千円	%	円/kg	%
野菜(生鮮・冷蔵)	34,110	71.7	4,178,612	68.5	123	69.8	478,195	82	55,448,432	78	116	95.9
トマト	187	66.0	46,433	43.9	249	76.6	1,813	47	534,534	42	295	89.2
たまねぎ	13,758	79.2	511,155	89.9	37	117.8	169,635	80	5,830,987	68	34	84.9
にんにく	1,455	92.4	141,089	79.2	97	81.3	18,331	90	1,847,238	71	101	78.3
ねぎ	2,321	56.5	215,608	43.0	93	74.9	30,377	68	3,167,473	75	104	109.9
ブロッコリー	1,050	53.8	186,473	48.6	178	80.6	30,446	78	5,309,067	76	174	97.0
結球キャベツ	221	-	6,383	-	29	-	3,842	-	150,302	-	39	-
にんじん・かぶ	1,795	64.8	73,918	46.4	41	75.9	40,159	93	2,709,021	129	67	139.3
ごぼう	3,494	84.4	150,563	97.0	43	119.9	40,859	90	2,123,001	100	52	111.3
えんどう	32	22.7	6,065	20.8	188	61.6	858	25	176,566	21	206	84.2
アスパラガス	1,329	79.3	820,627	83.8	618	110.4	9,355	82	5,579,461	82	596	100.1
まつたけ	149	120.7	563,523	92.3	3,793	49.3	1,312	86	6,635,450	77	5,057	95.8
しいたけ	365	41.2	93,111	43.3	255	90.2	3,732	44	938,263	41	251	93.6
かぼちゃ	4,804	61.7	392,875	59.0	82	131.6	86,385	94	6,548,867	95	76	101.3
果実(生鮮・乾燥)	142,196	113.3	17,985,682	94.5	126	89.9	1,702,298	103	216,222,489	96	127	95.7
バナナ	100,372	132.5	7,698,992	167.9	77	114.4	998,410	110	76,417,076	118	77	109.6
パイナップル	9,263	82.2	549,769	86.2	59	102.9	133,738	87	8,281,902	81	62	105.4
レモン	3,062	60.3	432,464	34.6	141	65.8	53,166	92	10,195,556	81	192	92.4
オレンジ	3,232	95.8	307,183	71.4	95	70.8	95,075	117	9,588,936	81	101	72.7
グレープフルーツ	6,886	115.3	865,106	111.6	126	105.1	169,757	87	15,455,519	73	91	93.3
メロン	1,571	109.5	173,788	85.9	111	108.9	28,959	125	3,238,052	110	112	87.7
ぶどう	684	49.9	182,887	42.8	268	89.5	6,040	78	1,330,494	73	220	93.1
キウイ	3,898	90.1	1,921,736	74.0	493	113.6	59,193	99	19,397,673	102	328	102.9
いちご	379	82.5	375,093	77.5	990	97.7	3,254	85	3,296,052	85	1,013	100.0
切花(生鮮・乾燥)	2,994	107.8	2,312,715	90.3	772	84.8	32,010	103	26,030,750	97	813	94.6
鳥獣肉類	144,290	103.2	68,500,566	103.8	475	99.8	1,641,589	108	783,343,720	108	477	100.5
牛肉(くず肉含む)	38,772	110.3	17,629,414	96.6	455	86.9	421,912	99	207,000,259	94	491	95.6
豚肉(くず肉含む)	63,161	99.0	33,325,812	98.8	528	99.8	749,475	108	395,212,618	107	527	99.3
鶏肉	36,178	106.4	13,100,355	149.4	362	141.4	394,500	123	123,233,716	170	312	137.9
水産物(生鮮・冷蔵・冷凍)	146,437	87.3	87,683,402	86.5	599	101.8	1,713,372	99	1,012,490,085	100	591	100.6
まぐろ類	16,507	84.0	11,174,639	68.1	677	89.0	195,568	91	193,704,138	101	990	111.5
さば・さんま・あじ・いわし	9,316	97.3	2,471,298	115.3	265	161.6	97,394	121	17,285,068	118	177	97.6

2 輸出実績

果実(生鮮・乾燥)	6,667	88.3	1,786,954	90.8	268	102.9	28,298	100	9,048,203	100	320	100.2
うんしゅうみかん	1,316	46.9	145,282	46.7	110	110.0	3,285	74	437,560	80	133	107.4
りんご	5,052	111.5	1,485,997	98.7	294	77.2	20,222	106	6,026,606	102	298	96.4
なし	99	96.1	35,082	73.7	354	75.8	1,452	71	633,192	70	436	98.7
野菜(生鮮・冷蔵・乾燥)	-	-	303,757	74.6	-	-	-	-	3,394,335	100	-	-
緑茶	144	90.5	257,775	92.8	1,791	92.6	1,527	102	3,019,701	103	1,978	100.3

資料 農林水産省大臣官房統計部「農林水産物輸出入情報」

関 連 指 数

項目 年月		消費者物価指数				
		愛知県 平成17年 = 100				
		総合	生鮮野菜	生鮮果物	肉類	魚介類
全 国	18年平均	100.3	105.8	104.0	100.8	102.2
	19年平均	100.3	103.1	109.3	102.7	103.1
	20年 9月	102.7	106.8	104.1	107.6	106.2
	10月	102.6	109.5	104.6	107.6	105.7
	11月	101.7	101.8	98.6	107.4	106.2
愛 知 県	18年平均	100.2	103.9	102.5	99.8	103.9
	19年平均	100.5	100.3	111.1	100.7	103.5
	20年 9月	102.9	106.2	107.9	107.1	106.0
	10月	102.8	105.9	100.9	105.7	106.5
	11月	102.1	99.7	97.5	105.2	104.7

項目 年月		農業物価指数 (平成17年 = 100)				
		農産物総合	米	野菜	果実	畜産物
18年平均	18年平均	102.9	97.8	108.2	120.6	99.0
	19年平均	97.6	95.0	100.6	110.1	99.5
	20年 8月	91.9	93.4	82.7	109.5	104.3
	9月	96.3	96.5	99.4	83.0	103.3
	10月	98.2	96.3	109.7	90.1	100.8
11月	100.9	96.9	107.3	122.1	98.0	

資料 農林水産省大臣官房統計部「農業物価指数」

資料 全 国・総務省統計局「消費者物価指数月報」
愛知県・愛知県県民生活部「名古屋市消費者物価指数」

名 古 屋 市 小 売 価 格 (円)													
品目 単位 年月	うるち米 (単一産、 「コヒカ 」以外)	キャベツ	はくさい	ねぎ	レタス	ばれいしょ	だいこん	にんじん	たまねぎ	きゅうり	トマト	生しいたけ	りんご(ふじ)
	5 kg	1 kg										100g	1kg
17年平均	2,293	170	165	586	397	304	151	340	217	522	636	178	521
18年平均	2,256	174	184	606	426	278	161	359	217	538	630	193	502
19年平均	2,229	147	153	589	440	269	137	295	203	530	629	206	535
20年 9月	2,182	122	177	764	519	271	170	299	199	518	591	213	-
10月	2,198	138	199	665	512	259	179	264	178	565	689	209	-
11月	2,183	160	142	582	437	257	128	272	194	803	678	207	453
品目 単位 年月	みかん	グレフ イル プ イツ	オレ ンジ	いちご	バナ ナ	キ ウ イル イツ	緑(せ 茶ん 茶)	カ ー ネ シ ョ ン	き く	パ ラ	豚(口 肉 ス)	牛(口 肉 ス)	ま ぐ ろ
	1 kg	100g	1 kg	100g	1 kg	100g	1 本	100g					
17年平均	548	291	362	156	240	723	618	155	171	306	234	792	480
18年平均	546	354	404	153	245	686	609	159	168	312	233	793	497
19年平均	689	356	509	165	258	705	602	163	170	315	221	776	506
20年 9月	1,071	340	437	-	257	691	631	168	169	319	237	841	510
10月	507	332	415	-	301	698	620	164	170	331	231	822	499
11月	465	366	408	-	279	675	610	159	172	326	236	837	484

資料 総務省統計局「小売物価統計調査報告」



あいち農産物生産流通レポート 428
平成21年2月発行
農林水産部食育推進課
〒460-8501
名古屋市中区三の丸三丁目1番2号
電話 (052) 954-6417